

《国民文化祭記念コンサート》

N. リムスキー＝コルサコフ
交響組曲「シェエラザード」op.35
(ヴァイオリン独奏：増永花恵)

D. ショスタコーヴィチ
交響曲 第9番 変ホ長調 op.70
「ロシアとキルギスの民謡主題による序曲」op.115



Vn. 独奏：増永花恵 指揮：山本貴嗣

演奏：国文祭京都・記念オーケストラ

2019年12月8日(日) 13:30開場 14:00開演
京都府長岡京記念文化会館

料金：1000円(全席自由) 未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

お問い合わせ：長岡京芸術劇場実行委員会事務局

(京都府長岡京記念文化会館内) <http://www.nagaokakyo-hall.jp>

TEL: 075-955-5711

チケット取扱：京都府長岡京記念文化会館

[山口たばこ店] 921-2500

[ラブリート明寺] 955-2641

[イズミヤ長岡店] 953-5801

[文京堂書店] 953-0225

主催：長岡京芸術劇場実行委員会 共催：長岡京市、長岡京市教育委員会、公益財団法人京都府長岡京記念文化事業団

補助：京都府(令和元年度「文化芸術振興・発信事業」)

協賛：株式会社村田製作所 京都信用金庫 一般財団法人長岡記念財団 香老舗松栄堂

アラビアン・ナイトの世界へ、ようこそ



リムスキー＝コルサコフの《シェエラザード》は、インド・イラン起源の説話集『千一夜物語（アラビアン・ナイト）』にもとづく人気の高い交響組曲です。「妃の不貞を知ったシャリアール王は彼女を処刑して、以来女性不信に。若い乙女を宮殿に引き入れて一夜を共にし朝になれば殺害するということを繰り返していた。そこへ、次の花嫁にと自ら願い出たのが聡明なシェエラザード。夜ごと不思議な物語を王に話して聞かせ、夜明けが近づくと『今日はここまで』と、結末を先延ばしに。続きが気になる王は、彼女を生かし続け、遂に千一夜を迎えた時、自らの愚かさを知り、改心する」・そのシェエラザードの有名なテーマが、妖艶で甘美なソロ・ヴァイオリンで曲中に何度も登場します。今回はこのコンサートシリーズでもお馴染みの増永花恵氏によるシェエラザードでお届けします。日曜の昼下がり、管弦楽法の魔術師 リムスキー＝コルサコフによるエキゾチックなオーケストラ・サウンドにどっぷり浸かってみませんか？

コンサートの前半は、20世紀ソ連の大作曲家 ショスタコーヴィチの作品をお楽しみいただきます。ソヴィエト共産党機関紙による批判以降、政府が自国の音楽に求めた「社会主義リアリズム」の路線に沿う作品を発表し続けたショスタコーヴィチ。しかし、第二次世界大戦での勝利の中でスターリンを賛美する大規模な第九交響曲の作曲を期待された彼は、なぜか、荘厳なファンファーレも合唱も賛歌もなく極めて室内乐的でライトな（聴きようによっては皮肉に溢れた）「第九」を発表し、当局や聴衆の期待にすっぽかしを食らわしてしまったのです（続きは当日の演奏と解説をお楽しみに・・・）。対照的に「ロシアとキルギスの民謡主題による序曲」は、こうした体制／反体制の世界とは無関係な「安全牌」で、中央アジア キルギス地方の民謡とロシア民謡を織り交ぜ活気に満ちた晩年の佳作。2曲セットでお聴きいただける機会は大変貴重です。



増永 花恵 (Vn. 独奏)

4才よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学附属音楽高校を経て、同大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業。ヴァイオリンを故久保田良作、澤和樹、W. マルシュナー、森悠子の各氏に師事。全日本学生音楽コンクール東京大会、小学校及び高校の部入選。新潟県音楽コンクール最優秀賞受賞。第7回「長江杯」国際音楽コンクール弦楽器一般の部第1位受賞。長岡京室内アンサンブルにて研鑽を積み、兵庫芸術文化センター管弦楽団に契約団員として7年間勤める。'12年及び'16年に長岡京市民管弦楽団と協奏曲を協演する他、パートナー奏者としても演奏している。現在、関西フィルハーモニー管弦楽団第2ヴァイオリントップ奏者。レーデ弦楽四重奏団メンバー。

山本 貴嗣 (指揮)

大阪大学人間科学部卒。けいはんなフィルハーモニー管弦楽団 音楽監督を経て、長岡京市民管弦楽団 アドヴァイザリー・コンダクター。幅広い作曲家の交響曲に加え、近年では長岡京でリスト、ベートーヴェンのピアノ協奏曲、ブラームス ヴァイオリン協奏曲、京都フィロムジカ管弦楽団（客演）でシベリウス ヴァイオリン協奏曲（初稿版）の関西初演、洛星交響楽団楽友会演奏会でラヴェル ピアノ協奏曲などコンチェルトの演奏も多数。バレエではダンサーや演出家からの信頼も厚く「淡路島舞台芸術祭」でチャイコフスキー「白鳥の湖」、兵庫県芸文センターでプロコフィエフ「ロミオとジュリエット」の各公演を指揮。18年の国民文化祭記念コンサートでは、オペラ「椿姫」（演奏会形式）を指揮して成功させた。

国民文化祭・記念オーケストラ

2011年に京都府において国民文化祭が開催され、ここ長岡京市では「オーケストラの祭典」が行われた。森悠子先生に音楽監督をお願いし、長岡京市民管弦楽団と京都シンフォニカが中心となり、全国のアマチュアオーケストラからも参加者を募って、合同オーケストラを編成し、大成功を取ることができた。これを記念して、引き続き、長岡京市を中心とする京都府南部の芸術文化の向上に寄与することを目的に、継続的に国民文化祭記念コンサートを開催することとなり、このため、長岡京市民管弦楽団と国民文化祭参加メンバーを中心として、毎年、特別編成のオーケストラを組織している。